

山梨大学学生フォーミュラ部

2013年大会報告書

支援者の皆さまへ

秋涼の候、皆様ますますご健勝のほどお喜び申し上げます。この度は9月3日から7日に静岡県小笠山総合運動公園にて行われました、第11回全日本学生フォーミュラ大会の大会報告をさせていただきます。弊社におきまして7回目の挑戦となりましたこの第11回大会も無事終了し、今回も私たちがこの大会に出場できたのも、御支援していただきましたスポンサーの方々とお声援をしてくださりました皆様のおかげであります。多くの御支援・御協力そして御声援ありがとうございました。

今年の大会の総合成績は 78 チーム中 12 位と、昨年の順位 19 位から順調に 7 つ順位を上げました。念願のトップ 10 まであと一歩及びみせんでしたが、来年度もさらに上位を目指して活動をしていく所存でありますので、これからも皆様の温かい御支援・御協力そして御声援をよろしくお願い致します。



<YFR2013 集合写真>

ここからは、大会 5 日間の様子を日にちごとご報告致します。

1 日目

大会初日は前回大会で28位までのシードチームのみ受けることができる車検の日でした。大会会場の開場時間前に到着し、車検までピットの設営や車両の点検を十分に行って車検に臨みました。



<早くに会場入りして作業開始時間を待つ>

この日は車検・チルト試験(燃料漏れ試験)・騒音試験に合格することができました。初日中にこなすべき予定を全てこなし、例年よりも1日早い行動ができました。シードチームとして順調な大会初日を送ることができたと思います。



<車検中の様子>



<チルト試験>

2日目

この日は静的審査を行いました。審査の内容は4つあります。車両の開発過程や理解度をみるデザイン審査。車両の製作費用を正確に計算できているか確認するコスト審査。指定された部品を年間1000台分生産するにはどうすればよいかという課題に答えるリアルケースシナリオ。自分たちが製作した車両を生産会社に作ってもらうためにプレゼンを行うというプレゼンテーション審査。

それぞれの審査の感想ですが、デザイン審査ではアピールの方法についてアドバイスを頂きました。コスト審査では正確に製作費用を計算できていない部分があり、来年の課題となりました。リアルケースシナリオでは、より具体的な生産プランを考えるよう指摘されました。プレゼンテーション審査では、市場分析の部分で聞き込みを実際に行うなど自分たちにできることをするようにと発表後に総評を頂きました。

静的審査については、まだまだ改善していく必要があると実感しました。

また、静的審査の合間をぬって2日目から開始したブレーキ試験を行いました。朝から強烈な雨が降る中でのブレーキ試験でしたが、見事ブレーキで4輪をロックさせて合格することができました。



<雨の中ブレーキ試験へ向かう(右)>



<全ての車検に合格した証明>

車検に合格すると練習走行ができるようになるので、次の日からの走行競技に備えて練習走行を行いました。午後からは朝の雨が嘘のように止んで、良い状態で練習走行ができました。



<練習走行に向かう様子>

3日目

3日目から動的種目が行われます。午前中にアクセラレーション(75m 加速)とスキッドパッド(8の字旋回)を2人のドライバーがそれぞれ2回ずつ行いました。スキッドパッドについては今年の練習走行の中で多く練習した種目だったこともあり好タイムを残すことができました。

午後からはオートクロス(コース走行)を行いました。安定した走りで確実にタイムを残すことができました。今回の大会では、このオートクロスのタイムが早い順にA,B,Cグループに分けられエンデュランス(耐久走行)の出走時間が異なります。Aグループは大会5日目に出走し、B,Cグループは大会4日目に出走となります。私たちはギリギリでAグループになり、5日目に出走することが決定しました。



<スキッドパッド出走前>



<競技場所へ向かう様子>

4日目

4日目はエンデュランスの出走が5日目になったことで参加する競技はなく、他校の偵察や練習走行に充てることができました。大会中でありながらも来年の車両製作に役立てるために他校の車両分析は欠かせません。

5 日目

いよいよエンデュランスの出走日です。朝 1 番目で8時からの出走だったので、会場についてから車両の整備・暖気運転・練習走行と忙しいスケジュールでした。時間の関係からエンデュランスを走行する2人のドライバーのうち1人しか直前に練習走行ができなかったことが少し残念でした。しかし、競技では2人とも終始安定した走りを見せてくれました。応援する方も安心して完走するのを見ていただけるほどに今年の車両は安定していて、去年と比較してチームとしてレベルアップしたことを実感しました。



<エンデュランスを走行する Shingen13>



<出走前の暖気運転中>



<エンデュランス完走！>

総合成績

・総合順位 **12位/78 チーム中** (前回 19位/82 チーム)

・総合得点 **577.92** (前回 527.75)

動的競技完走 (2年連続)

日本自動車工業会会長賞受賞

種目	2013年順位	2012年順位
コスト審査	33位	24位
プレゼンテーション審査	47位	41位
デザイン審査	36位	40位
アクセラレーション	21位	36位
スキッドパッド	8位	28位
オートクロス	21位	25位
エンデュランス	13位	24位
燃費	15位	4位
総合順位	12位	19位

今年は、車両の早期完成による走行練習の増加によって動的競技の順位をアップさせることができました。特に、本番と同じコースを自分たちで設営して練習することができるスキッドパッドは大きく順位を上げました。車両の完成度だけでなく、ドライバーの習熟度を向上できたことが動的競技順位アップの要因だと思います。

一方で、静的審査の順位が低下してしまいました。審査員にアピールするポイントが適切でなかったことやコスト算出の間違いなどが原因でした。更に上位に進出するためには静的審査の順位アップが必要であり、改めてレギュレーションを読み直して正確な書類を作成することが来年の課題です。

最後に

今年もスポンサーの皆様からのご支援、ご協力ありがとうございました。今年の大会に参加することが出来たのも皆様のご支援のおかげです。部員一同心より感謝し御礼申し上げます。

今年の活動は早期の車両完成を目標に取り組み、7月の時点でシェイクダウンを行い昨年よりも多くの走行会を設けることができました。来年は更に走行会の増加、静的審査対策の時間を増加させてトップ10を狙えるよう活動していきます。

スポンサーの皆様、正々堂々の快報をお送りできるよう部員一同邁進していく所存です。来年度も変わらず活動へのご支援・ご協力を宜しくお願い致します。



FA 角田 博之

FA 丹沢 勉

2013 年度部長 松野 力也